

新潟88回末広会 20周年記念クラス会

新潟生命歯学部第88回卒業末広会20周年クラス会が、平成31年2月10日（日）ANAクラウンプラザホテル新潟にて開催されました。

卒業後のクラス会としては15年ぶりの開催となり、当日は16時より岩渕雅論君の司会にて総会が始まり、会規約や次回クラス会開催地などの協議が行われ、次回は令和4年、沖縄にて開催することが決定いたしました。

総会後は学術大会および特別講演会を行い、岡崎孝亮君「顎関節の初期対応と応用」、石井靖人君「静岡市静岡歯科医師会における周術期等口腔機能管理推進への取り組み」、大竹一平君「口腔顎顔面外傷の治療」、小國武士君「矯正歯科治療における抜歯・非抜歯の診断の1例」らの発表がありました。

特別講演といたしまして、藤井一維新潟生命歯学部長・新潟生命歯学部歯科麻酔学教授（77回）に「新潟生命歯学部の現況」というタイトルでご講演いただき、卒後20年たった今の新潟校の現状に会場からはどよめきが起こる場面もありました。

懇親会に先立ち、我々88回卒業末広会の5、6年生時に副担任として大変お世話になりました、佐野公人新潟短期大学学長・

新潟生命歯学部麻酔学講座教授に黙祷を捧げた後、懇親会が開宴となりました。

懇親会は校歌斉唱に始まり、来賓祝辞を中原 泉 理事長・学長・校友会会頭よりいただきました。続いて、5、6年生時の学年主任であった加藤喜郎名誉教授（55回）より祝辞を預かりましたので、代読させていただきました。

藤井歯学部長の乾杯の発声を皮切りに、久しぶりの再会を喜ぶとともに、お酒も会話も弾みました。

歓談時には余興を小國君、石多謙一君が担当し、参加者一人ひとりからマイクリリース方式での近況報告、ビンゴ大会では、男性筋肉自慢による腕立て伏せレース、女性全員による前屈大会、中原理事長と藤井歯学部長による付度タイムなどを交えながら、大いに盛り上がる余興となりました。

また、沖縄から参加し次回のクラス会代表幹事に決まった宮里省吾君より「遠方ですが、観光もかねて楽しめるクラス会を計画したい」との挨拶もあり、次回も大勢の出席が期待できそうです。

懇親会の最後は、山田裕士君による一本締めで終了となり、同ホテルでの二次会終了後は、加藤名誉教授よりいただいた祝辞の中で「今夜は学生時代にもどり皆古町にくり出すように」とのお言葉がありましたので、おのこの夜の古町へと消えて行きました。

今回、大変お忙しい中ご臨席いただきました中原理事長、藤井歯学部長には誠にありがとうございました。今回参加した方々、幹事の皆様ご苦労さまでした。

（佐藤大一 記）

